

全国の自治体や図書館、学校関係者らと「家読」運動を展開!!
家読推進プロジェクト代表が「家読」の方法や効果を明かす

宮崎県では初!



家読推進プロジェクト代表

佐川 二亮 家読推進セミナー

(さがわ つぐすけ)

家族の絆を深める

"家読 (うちどく)" で読みニケーション

期日：平成23年 **8月19日** (金)

時間：午前10時から12時

会場：宮崎県立図書館 視聴覚室

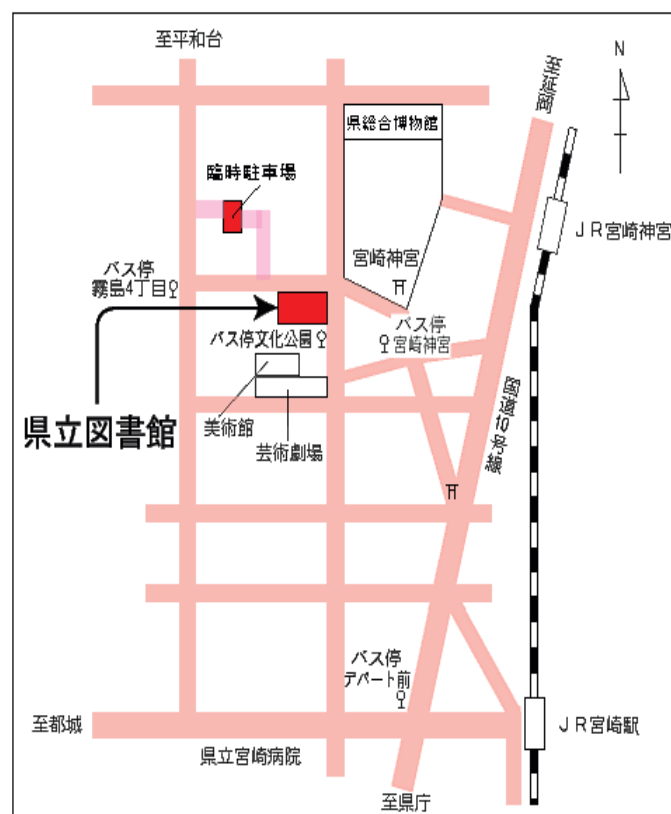
主催：宮崎県教育委員会

参加費無料・定員100名

家読 (うちどく) とは、「家庭読書」を略した呼び名で、読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという試みです。

家読のやり方に決まりはありません。家族一緒になって読書を楽しむ時間を過ごして、読んだ本について話をするということを基本としています。

【会場案内】



うちどく 家読のすすめ

1988年にはじまり、今や小・中・高をあわせると2万7千校、約1千万人の児童・生徒たちが行っている「朝の読書」。子どもたちの心が豊かになるだけでなく、いじめや争いごとが減ったという成果もあり、実施する学校はさらに広がっています。

その一方で大人が本を読まない状況が深刻になっています。

家族が週1回あるいは月1回、絵本の読み語りをしたり、同じ本を読んで会話を楽しんだり、読んだ本をきっかけに、家族のコミュニケーションが増え、そして絆を深めることができたなら……。

その具体的な読書提案が「家読（うちどく）」です。きっと、家庭が子どもを優しく包む空間となることでしょう。

セミナー講師紹介



佐川 二亮（さがわ つぐすけ）

●プロフィール

1947年福島県矢祭町生まれ。現在、家読推進プロジェクト代表・子ども司書推進全国協議会顧問・朝の読書推進協議会顧問。1995年に「朝の読書」提唱者、林公・大塚笑子教諭とともに「朝の読書」を全国の学校に広める運動に取り組む。2006年12月に「朝の読書」運動の延長として家庭での読書「うちどく（家読）」運動を立ち上げる。主な著書「写真集作家の肖像」「朝の読書はもうひとつの学校」など。

セミナー申し込み方法

締め切り：平成23年8月12日（金）

下記申込用紙欄に必要事項を記入してFAXにて送付、もしくは、お電話にてお申し込みください。

うちどく
家読推進セミナーへの参加を申し込みます。

お名前		TEL	

※ 取得した個人情報は、家読推進セミナー以外の目的には利用しません。

申し込み及び問い合わせ先

宮崎県教育庁生涯学習課

FAX：0985-26-7342

TEL：0985-26-7245